

# IXIL FamiLock 標準キー収納リモコン 登録方法説明書



●この説明書は、必ず取扱いされる方にお渡してください。

## ■取扱いされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

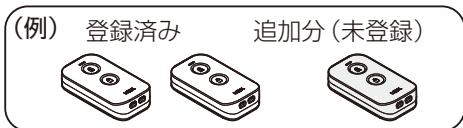
**▲ 注意** …取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲ 注意

●リモコンはお子様の手の届かない所に保管してください。リモコンに内蔵のコイン型電池は飲み込むと危険です。

## ■登録の前に

登録したいリモコンをすべて集めます。(すでに登録済みの分も含みます。)  
 ※新たに登録するとすでに登録済みのリモコンのデータがすべて消去されます。  
 ※リモコンの登録だけでは、カードキーやスマートフォンの登録データは消去されません。



リモコンのボタンを押してランプが点灯する(電源がONになっている)事を確認します。  
 ※OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。



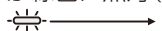
2つのボタン同時3秒押しでリモコンの電源をON/OFFできます。

※電源をOFFにするとリモコンは使用できなくなります。しばらく使用しないときや玄関付近でリモコンを保管しなければならない場合は電源をOFFにしてください。  
 ※電池を入れ替えた場合も電源がOFF→ONになります。



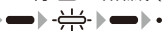
**電源ONの場合(OFF→ON)**

ランプが緑色に点灯(1秒間)



**電源OFFの場合(ON→OFF)**

ランプが緑色に点滅(5回)



## ■登録手順

①フタのねじをゆるめます。  
手回しドライバーをご利用ください。  
約10回まわします。

フタを外します。

登録ボタンを1秒押し、離します。

②1個ずつリモコンのボタンを押し、登録します。

③約30秒待つと登録が終了し、『ピー』音の後、登録個数分『ピッ』音が鳴ります。\*2

\*2)登録済みのスマートフォンやカードキーの個数分も合わせて鳴ります。

④フタを元に戻します。

下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

次の条件下ではリモコンが作動しない場合がありますのでご注意ください。

- ・金属やRC壁、人体、飲み物、電子機器端末など電波が通りにくいものがリモコンとドアの間にある場合
- ・玄関ドアやリモコンの近くに電子レンジなどの電波ノイズを出す機器がある場合
- ・無線通信式(2.4GHz帯)の電化製品が複数ある場合



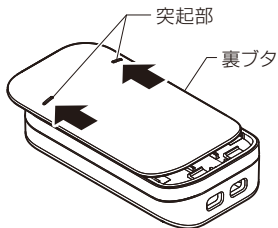
## ■リモコンのオートスリープ機能について

リモコンは10秒間静止すると自動的にスリープ状態になり、タッチボタン操作ができなくなります。スリープ状態は、リモコンを軽く揺らすなどして動かすかリモコンのボタンを押すと解除されます。なお、予期せぬ振動でスリープが解除される場合に備え、リモコンはドアから離して保管してください。（詳しくはFamiLockの取扱い説明書を参照してください）

## ■標準キーの収納方法

リモコン内に標準キーを収納することができます。（※リモコンご購入時には標準キーは収納されていません。）

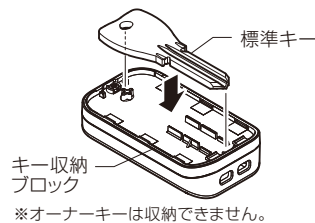
①裏側の突起部を押し、裏ブタをスライドさせて外します。



※スライドしにくい場合は裏ブタ端部を押してください。

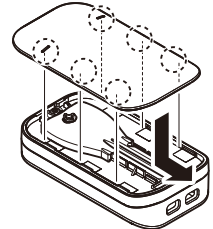


②キー収納ブロックに標準キーを収納できます。



※オーナーキーは収納できません。

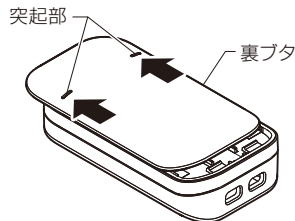
③ツメ位置を合わせ、裏ブタをはめ、スライドさせます。



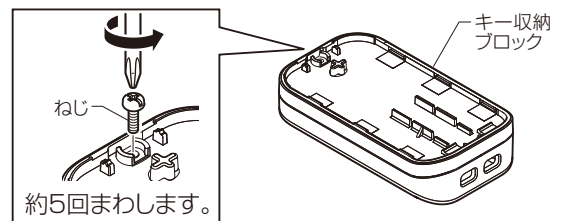
## ■リモコンのスリム化(キー収納ブロックの取外し)

キー収納ブロックを外すとリモコンをスリムにすることができます。（※スリム化すると標準キーを収納できません。）

①裏側の突起部を押し、裏ブタをスライドさせて外します。

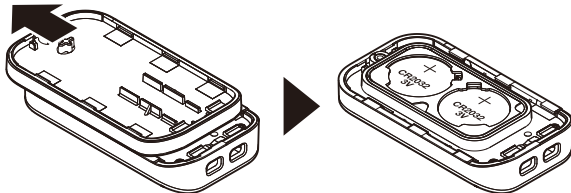


②キー収納ブロックのねじを外します。

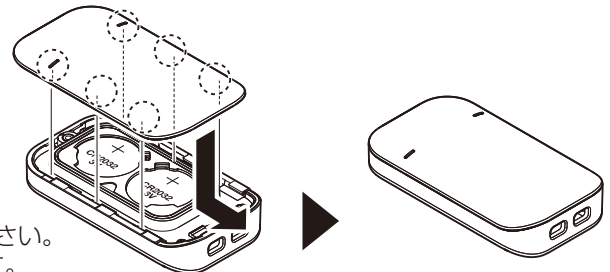


約5回まわします。

③キー収納ブロックをスライドさせて外します。



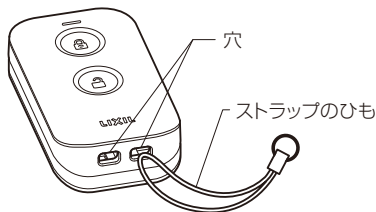
④ツメ位置を合わせ、裏ブタをはめ、スライドさせます。



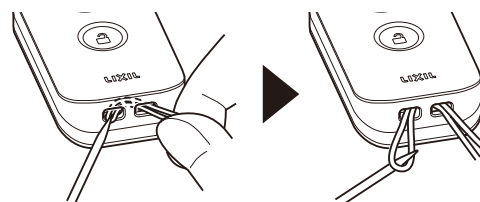
※取外したねじとキー収納ブロックはなくさないよう保管してください。  
ねじを紛失した際は、「なべ小ねじM2×5」を代用いただけます。

## ■ストラップの通し方

①片側の穴へストラップのひもを挿入します。



②もう一方の穴からピンセットや先の細い棒などを使い、ひもを取出します。




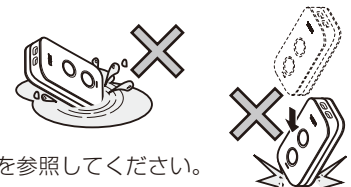
③引張りだしたひもにストラップの根本側を通し完了です。



※金属製Oリングなどを通し使用する場合は、リモコンの破損のおそれがありますのでご注意ください。

### リモコンの取扱い上のお願い事項

- (1) 落下などによる衝撃や強い力を加えないでください。壊れるおそれがあります。
- (2) 水の中に落とす、流水をかけるなどは行わないでください。
- (3) 車内など高温になる場所で保管しないでください。
- (4) 機器の故障や電池切れ、停電などリモコンで解錠操作ができない場合もありますのでリモコンと合わせて必ずカギ（)も持ってお出かけください。
- (5) ご使用方法、電池交換方法、注意事項詳細などについては、FamiLockの取扱い説明書を参照してください。



●当社は、当社商品のユーザー様および流通業者様等の個人情報を商品納入に当たって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他目的のために利用いたします。  
当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。